

令和7年度 和賀東中学校教職員 働き方改革アクションプラン ～『相互研鑽力』『健康管理力』『意思疎通力』～

和賀東中学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

〔定量的現状〕

- ◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」
・R7年度目標:6月10人、平均4.0人 (R6年度:6月12人、平均4.6人)
「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。」
・R7年度目標:0人(R6年度:6月1人、平均0.3人)

〔定性的現状〕

- 教職員の意識
・当校で推進する和賀東中学校安全衛生委員会の取組が全教職員に徹底されている。
- 管理職のマネジメント
・職場における安全と健康を確保すること
・快適な職場環境を形成促進すること

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

- 北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。
- 本校に勤務する先生方の資質・能力を向上します。

<目指す姿>

- 教師像として
 - ・ 研修と修養に励み、共に磨き高め合う教職員 【相互研鑽力】
 - ・ 自己の健康管理に気を配り、明るく元気な教職員 【健康管理力】
 - ・ 生徒、保護者、地域から熱く信頼される教職員 【意思疎通力】
- 働き方改革へのアプローチとして
 - ・ 業務改善・働き方改革に係る課題について、解決策や推進方法等を検討したり、協議したりする場が設定され、学校全体で共有している。
 - ・ 教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ 働き方改革プラン目標達成に向けての取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- ・ 学校安全衛生委員会の対応の在り方について検討・改善します。
- ・ 管理職が、職場の労働災害の防止について積極的に声掛けをします。
- ・ 月の途中で月の時間外在校等時間が60時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、職場環境の点検ならびに結果に基づく適切な処置をします。
- ・ 健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ 職員が心身ともに健康的な働き方が実施できる職場を目指し、業務改善の取組について検討します。
- ・ 管理職が、校務支援システムの活用について積極的に提案し、推進に努めます。
- ・ 保護者への文書配付を含めた連絡について、マチコミメールを積極的に活用するとともに、欠席連絡ツールとしても活用することにより、業務の効率化を進めます。
- ・ 職員の意識改革を目的に、月に1度勤務時間の点検をします。
- ・ 定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定しています。(安全衛生委員会等)
- ・ 会議について、ペーパーレス化を維持するとともに、効果的な実施時期・回数の検討と推進を図り、合理化を進めます。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 業務の適正化を図るよう安全衛生委員会において協議を進めるとともに、必要に応じて学校地域協働本部等の関係団体との連携を図ります。
- ・ 本校職員の業務内容については、保護者や地域の理解・協力を得て対応します。
- ・ 教職員参加の地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・ 働き方改革に向けた取組について、保護者や地域の方に理解いただけるよう広くお知らせします。
- ・ 休日の部活動については、保護者会やスポ少等の協力をいただきながら、生徒の健全育成に努めます。

令和7年5月21日 北上市立和賀東中学校長 遠藤暢睦

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

〔・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%〕

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%〕